

JICA の研修コースを受講した成果についての報告
保健人材育成-地方村落における地域保健-

氏名： TERESITA B. PASIWEN

地方保健衛生官

Conner（フィリピン・Apayao 州）の地方自治体

問 1 現在の仕事内容を教えてください。

Conner（フィリピン・Apayao 州）にある複数の地区・村といった、地方自治体での保健プログラムの実施を指揮している。

日本で受講した人材育成コースの中で作成したアクションプランの活動のうち、そのいくつかを以下の通り実施した。

1. Conner の公共保健職員たちに、日本で体験したことを伝え、また私が作成したアクションプランを見せた：私の同僚たちは、とりわけ日本の保健サービスの提供について非常に驚いている。
3. 第 1 回 Conner 保健サミットの開催中、地域に住む母子の緊急時の保健対策について、ワークショップを指揮した。
4. 妊婦（BUNTIS）の保健デーを実施した。本イベントには、自治体に住むすべての妊婦が招待された。そこでは、施設が提供する母子へのサービス、母子について書かれた書籍の重要性、フィリピン健康保健公社（Philhealth）の保険、および母子・新生児の保健と栄養について、参加者たちと意見を交わした。*母子保健サービスについて、日本での経験を伝えた。*
5. アクションプランのうち、妊婦のための月例集会の運営、妊婦宅への訪問、妊娠中の健康的なライフスタイル活動の指導、妊婦を人間ドッグへ紹介すること、妊婦のフィリピン健康保健公社保険への加入を促進すること、といったいくつかの活動を、村落助産師（RHM）個別プランに組み入れた。
6. Conner の地方衛生委員会を再活性化した。年 4 回の委員会ミーティングを計画した。この委員会の職務の 1 つは、母子保健に関する決議および政策を含む、保健に関わる問題を解決することである。
7. フィリピン先住民族の伝統料理のプロモーション活動として、伝統的で栄養価の高い料理のコンテストを開催した。
8. Baguio 市で開かれた、人材育成のための国際基準の基礎的緊急産科/新生児ケア（BEmONC）トレーニングに、3 人の村落助産師が参加した。
8. 私は自分が日本で体験したことを先住民族のリーダーたちに伝えたが、とりわけ「日本人が長生きする理由の 1 つは、伝統料理を食べているからだ」ということを力説した。彼らのチーフは刺激を受けたようで、「我々の伝統料理を守り普及させるために、その点について調査してみます。我々も日本人のように、今よりも長生きできるようになるかもしれません」と述べた。

問 2 日本で学んだどのような知識、技能、技術が現在の仕事に活かされていますか？

- 人材育成
- 日本の保健・医療業務の歴史ならびに保健制度
- 日本の母子保健システム
- 政策を開発・実施する
- 訪問看護
- 人間ドック
- 伝統料理および保健食のプロモーション
- 保健システム向上のためのデータ利用
- 遠隔地における保健の役割および協力
- 物品管理
- 子育てセンター

問 3 今後あなたはどのような活動を予定していますか？

1. 地方衛生委員会の定例ミーティングの実施を予定しており、そこでは母子保健に関する論点・問題を討論することになるだろう。当委員会は母子保健を保護するための決議および方針の決定という役割も任されている。
2. 地方の栄養評議会を作り、その地方の伝統食のプロモーション、および私のエリアに住む栄養失調の子供たちに対する従来の取り組みからの「良い意味で脱却」について情報を共有する。
3. 村落助産師たちの母子保健への取り組みを引き続きモニタリングしていく。
4. 更なる遠隔地のニーズに応えるための出産所として、地区にさらに 2 カ所の保健ステーションを作る。
5. 保健職員のための人材育成プランを開発する。
6. 地区に住む母子の緊急時における保健対策の実施についてモニタリングする。
7. 認可されると施設で出産した際の費用を保険（フィリピン健康保健公社）でカバーしてもらえるので、2015 年中に 3 カ所の出産所が認可を受けられるように準備をする。Philhealth に対して国民皆保険の適用を求め続けていく。

問 4 日本人と JICA に対してメッセージをお願いします。

日本での研修期間中に私が体験したこと、および学んだことすべてについて、JICA と日本の人たちに対して、心からありがとうございます、と伝えたい。

日本での研修に参加するという機会を与えられたことについて、私は非常に幸運だったと感じている。これはあらゆるフィリピン人にとって、非常に稀なチャンスである。

日本での研修期間中、私はとてもたくさんの経験をした。非常に親切で熟練した先生たちの講義から多くのことを学んだ。それらの講義に加えて、色々な場所、オフィス、医療施設、学校、ミュージアム、観光スポット、お寺、神社およびその他の史跡、ならびに祭り、記念日、その他にもたくさんある日本の行事を見ることで、私は多くを学んだ。そして、とりわけ日本人たちからのもてなしには非常に感銘を受けた。皆さんはとても優しく、フレンドリーで大変丁寧だった。同様に、多くの日本人たちが私たちに尽くしてくれた。ある日の土曜日、ツアーと夕食のためにお金を出してくれた高齢者のグループの人たちに心から感謝している。また、日本人は勤勉だと私は言える。立っているだけ・座っているだけの日本人を私たちは見かけることがなかったので、日本人は皆、忙しく働いているのだらうと理解した。

とても完璧な、日本の保健および教育システムからたくさんのことを学んだ。フィリピンにも同じようなシステムがあったら良いのにと私たちは思っている。生きるだけで精一杯の人々がいる私たちの国に、全く同じシステムを取り入れることはできない。しかしながら、私は自分が働く分野において、学んできた原則を使うことによって、知識を生かしていく。私は研修期間中に学んだプログラムおよび活動のうちのいくつかをこれから導入する予定だ。日本で作ったアクションプランの実施を通じて、自分の働く分野に適用しているようにしている。

より多くのフィリピン人たちに、自分たちの仕事に生かすことのできる異なった何かを得るために、日本で学習もしくは研究するという経験をして欲しいと願っている。その異なった何かは、私たちの国のシステムをより良いものへ変えてくれるかもしれない。

最後となるが、よく発達したシステムと、私たちのような貧しい国々の人間を日本に招き、自国のこれまでの経験を学ぶ機会を与えてくれた、その寛大さについて、おめでとうと日本人たちへ言いたい。全世界へ善意を示しているあなたたちには、神からの更なる祝福があるだらう。日本万歳。


WELCOME
GUEST & PARTICIPANTS
to the
**HEALTH SUMMIT CUM BARANGAY MNCHN
EMERGENCY PLANNING WORKSHOP**
Caglayan, Conner, Apayao
July 25, 2014
Theme: **“Nasalun-at nga Umili, Dur-as ti Ili”**
Guest Speaker:
Dir. Valeriano Jesus V. Lopez, MHA, MPH, CESO IV
OIC Director IV-DOH CARO
(In Coordination with JICA, PLGU, & DOH-CARO)



実施された保健サミット開催中、JICA
の研修参加者たちが、日本での経験を
語っているところ



研修参加者たちがプランニングした、緊急
時における母子保健についてのワークシ
ョップ



サミットの間、ずっと座っていたので、緊張をほぐすために背中をマッサージしている



公共保健職員たちが、総合支部と JICA・フィリピンから来たゲストたちとポーズをとっている
(前列右から 3 番目に座っている女性は、Apayao 州の JICA コンサルタント、Marcelyn Dulnuan さん)

妊婦（BUNTIS）の保健デー

2014年7月18日、フィリピン・Apayao州・Conner



妊婦へのプレゼントを配布



座っているのは保健職員たち、立っているのは妊婦へのプレゼント（妊婦のためのいくつかの小さなアイテムが入ったバッグ）を持った妊婦たち



妊婦（BUNTIS）の保健デーで行われた、妊婦エクササイズ

栄養月間のお祝い
2014年7月29日、Apayao州・Conner・Caglayan



地域の伝統料理についての情報を年配者たちと交換するための集まり
2014年4月24日

伝統料理の料理コンテスト：

2014 年 6 月 29 日





料理コンテストの審査中
ジャッジのうちの1人は副市長の Rowel Begtang



伝統料理の味は：とてもおいしかった